

# 甘いイチゴに顔ほころぶ 日帰りバス旅行 44人参加

一週間前の天気予報が、うその様な晴天になった3月18日(日)、かばら支部の「イチゴ狩り」一行44人は一路、栃木県益子町をめぐりました。途中、佐野で休憩し日本一大きな恵比寿様を拝観して、「JAはが

の」のイチゴを栽培しているビニールハウスに到着しました。このビニールハウスがずらりと並んだ、駐車場は他の団体客や、家族連れで訪問したと思われる人達が人垣をつくり、にぎやかな雰囲気でした。案内役



の農家の人の先導でハウスの中をのぞくと、美味しそうな赤い粒がたわわに実っていました。私たちはわれ先にと争う事もなく、順番にハウスに入り、甘そうなイチゴを選んで口に入れ味わいました。そしてみなさんのほころぶ笑顔から「美味しいね」「甘いイチゴだね」と言う感想が方々から聞こえてきました。昼食はイチゴ狩りの場所の近くにある、益子焼きの共販センターでとり、焼き物をじつ

くり鑑賞したり、お土産を物色したりしながらセンター内の散策を楽しみました。また、行き帰りのバスの中では「謎解き栃木県」、「ビンゴゲーム」、「みんな

んからの提供で「外れクジなし」は大好評で参加者を楽しませました。私たちを乗せた大型バスは最後に茨城県那珂湊の漁港と近接する鮮魚市場をめざしました。そこで新鮮な魚介類を買い込み、常磐道の渋滞に巻き込まれながらも無事に帰ってくる事ができました。

報告 支部役員会

## 「葛飾営業所さくら」綾瀬に同居 話し合いを軸に情報の共有化 綾瀬訪問看護ステーション

今回は、私たちが働いている事務所を紹介したいと思います。前回このお話をいただいた時も事務所の紹介と普段どんな仕事をしているかの話をさせていただきました。今年3月にサテラ



を「綾瀬訪問看護ステーション葛飾営業所さくら」とし、サテライト化しました。サテライト化してからの取り組みとして、利用者の情報共有のためIT(Skype、IPAd)を活用したり、メルタスという情報共有ツールを活用して、利用者の経過記録や、夜間の申し

送り事項などを共有しています。その取り組みの中で、人員不足、業務の忙しさから人事故が進まないという課題がありました。話し合いを行い、より綾瀬とさくらで業務を円滑にすすめ、人員不足の負担を軽減するため、さくらの拠点を綾瀬に移し業務を一体化していくことに決めました。引越し当日は、スタッフの人数が増え、実際事務所に物を配置してみると、人がすれ違うのもやつの環境となりました。みなさまにおかれましては、今後、電話口に聞きなれないスタッフの声が聞こえるかと思いますが、安心して相談していただければと思います。これから生まれ変わる綾瀬とさくらを今後ともよろしく願います。

### 放射能汚染から子供の健康を守る会・第6回総会

日時：5月20日(日) 13時～  
場所：東和住区センター 3階ホール  
記念講演「福島からの報告」  
講師：原発事故被害・いわき市民訴訟団・原告団長 伊東達也氏

国と東京電力は被害者の立場に立ち賠償を行え！

# かばら恒例の花見 参加者30人 持ち寄りで豪勢なバイキング お酒も進みなつかしのメロディを合唱

会場にあてた東綾瀬公園のスイスランド周辺の桜は、満開を1日か2日前に過ぎた感じで「散り始め」の様相でした。それでも私たちが陣取った広場の周りには、子供と一緒に家族連れが集団が数組、ブルーシートを広げて宴会の準備に汗を流していました。

友の会かばら支部の毎年行われる「お花見会」の恒例は「一品持ち寄り」です。



そのための会費は200円とこの時代に考えられない安さです。この持ち寄りの料理とお酒・お茶をブルーシートのお座敷の中央にテーブルを見立ててバイキング形式に並べます。参加予定の顔ぶれがそろった所で、渡辺支部長、秦野昭彦区議会議員よりあいさつをいただき、小川務副支部長の音頭で「乾杯」をしてお花見の宴会が始まりました。バイキング形式に並べられた料理は多種多様。煮物、焼き物、野菜サラダ、漬物、2日かかりのビーフシチュー、お重に入れた混ぜご飯、サンドイッチ、焼きソバ、焼きうどん、菓子袋・・・この季節のありとあらゆる食材があふれるばかりに並びました。そしてどれもこれも美味しそうな物ばかりで、箸の伸びす先に迷っている人も多く見られました。お酒、お茶も豊富に差

し入れがあり、地酒のきき酒を楽しむ人もチラホラ見うけられ「こちらの純米酒が美味しい」「いや吟醸酒が良い」などと美酒談義に花を咲かせていました。お酒も進めば歌が入ります。なつかしのメロディーをみんなで歌い、隣同士でお話も弾みます。この「お花見会」の参加予定者は前日まで22人でしたが、開けてみると30人の顔ぶれがそろいました。そのような訳で今年も楽しい「お花見会」になりました。

報告 かばら支部役員会

## 駅頭で「戦争ダメだ」の声を届けて 安倍改憲NO

今、安倍首相と自民党は憲法を変え、アメリカが海外で戦争を起こした場合にいつでも、その戦争に参加出来る国をめざして、準備を進めています。その最大の鍵は憲法9条を変えるところで、そのため国会での改憲発議をねらっています。この動きに「安倍改憲NO」の声を上げ

## 健康チャレンジの 取り組み結果

積極的に自分の意思で「健康増進」活動に取り組む目的で、17年度足立健康友の会で「健康チャレンジ」を取り組みました。かばら支部ではウォーキングやストレッチ体操、ダイエット



て行こうと「止めよう戦争する国・足立東部の会」が活動を続けて来ました。毎月19日行動（2015年9月19日に「安保法・戦争法」が強行採決されたことを記憶にとどめるための活動）では綾瀬駅と亀有駅で交互に宣伝行動を行って来ます。3月の亀有駅頭での宣伝行動では7人の友の会役員をはじめ21人が駅頭

トなどを始め、自分で決めた種目に挑戦した会員は35人を数え、修了書と記念品を頂いた会員は16人になりました。17年度、挑戦できなかった会員のみなさんはぜひ今年秋に、「健康チャレンジ」の機会がありますから、ぜひ挑んでください。

この行動に参加した役員の一人は「3月の駅頭宣伝では森友学園問題など国会での論戦が街頭での会話の切っ掛けになり、対話がはずみました。また今回は戦争の実態を広く知らせたくて、東京大空襲の写真パネルを作り展示しました。それを見た通行人は『空襲の写真を見て見た。戦争は絶対ダメだ。自分の自転車にこのパネルを着けて回りたい。』と感想を述べてくれたそうです。視覚に訴えた効果があり、共感する意見が多数出て、短時間の中で45人の方が署名に添えていただきました。役員会では引き続き「平和で安心して住める街」をめざし運動を継続して行きたいと思えます。